

| | | | | | | |
|---------|---------------------|-----|-----|--------|----|-----|
| 1. 建物概要 | | | | | | |
| 建物名称 | (仮称)プロジェクト・オリオン新築工事 | BEE | 1.4 | BEEランク | B+ | ★★★ |

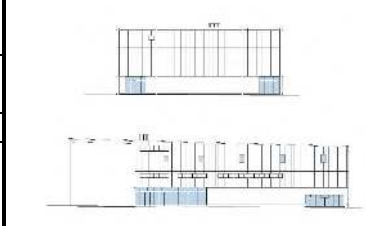
| 2. 重点項目への取組み度 | | | | | | | |
|--|---------------------|------|-------|-------|----|-------|-------|
| 重点項目 | 得点 [※] /満点 | 取組み度 | 評価 | 凡例 | よい | ふつう | がんばろう |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) | 3.3 | /5 | | ふつう | | | |
| "災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) | 3.3 | /5 | | ふつう | | | |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) | 4.3 | /5 | | よい | | | |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature) | 2.5 | /5 | | がんばろう | | | |
| ※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点) | | | 評価 | 4点以上 | | 3点以上 | |
| | | | よい | 4点以上 | | ふつう | 3点以上 |
| | | | がんばろう | 3点未満 | | がんばろう | 3点未満 |

| | | | |
|---|-----------------|-----------------------|-----|
| 3. 重点項目についての環境配慮概要 | | 内訳対応項目 | |
| 各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 | | | |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) | | 得点 | 3.3 |
| <p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>④適切に使用すれば50年耐用できるALCパネルを外壁仕上げ材に採用した。</p> <p>④耐用年数20年のビニルクロス内装仕上げ材に採用した。</p> | Q-1 2 2.1 2.1.2 | ① 外皮性能 | |
| | Q-1 3 3.1 3.1.3 | ② 昼光利用設備 | |
| | 3.2 3.2.1 | ③ 昼光制御 | |
| | Q-2 2 2.2 2.2.1 | ④ 躯体材料の耐用年数 | |
| <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑥H4.0mの高木を9本配置し、日影を形成する等の暑熱環境緩和に配慮した。</p> | Q-3 1 | ⑤ 生物環境の保全と創出 | |
| | 3 3.2 | ⑥ 敷地内温熱環境の向上 | |
| <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦より断熱性の高いガラスウール24Kを断熱材として使用し、建築物全体のBPIを0.85に抑えた。</p> | LR-1 1 | ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 | |
| | 2 | ⑧ 自然エネルギー利用 | |
| | 3 | ⑨ 設備システムの高効率化 | |
| | 4 4.1 | ⑩ モニタリング | |
| <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水型便器を使用している。</p> <p>⑫躯体材料以外に、リサイクル砕石、再生アスファルト混合物に加え、床材においてエコマークを取得した建築製品を2品目ウッドデッキにおいてエコマークを取得した木材・プラスチック再生複合材を用いている。</p> <p>⑬断熱材は、ノンフロン建材を使用し、オゾン層破壊のリスクを低減した。</p> | LR-2 1 1.1 | ⑪ 節水 | |
| | 1.2 1.2.1 | ⑫ 雨水利用システム導入の有無 | |
| | 1.2.2 | ⑫ 雑排水等利用システム導入の有無 | |
| | 2 2.1 | ⑫ 材料使用量の削減 | |
| | 2.2 | ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 | |
| | 2.3 | ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 | |
| | 2.4 | ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 | |
| | 2.5 | ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 | |
| | 2.6 | ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み | |
| | 3 3.1 | ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 | |
| 3.2 3.2.1 | ⑬ 消火剤 | | |
| 3.2.2 | ⑬ 断熱材 | | |
| 3.2.3 | ⑬ 冷媒 | | |
| <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑮夏季の卓越風向に対する建築物の見附面積比を32%に抑え、風通しを悪化させないよう配慮した。</p> | LR-3 1 | ⑭ 地球温暖化への配慮 | |
| | 2 2.2 | ⑮ 温熱環境悪化の改善 | |
| "災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) | | 得点 | 3.3 |
| <p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑰衛生配管システムを、3F系統(受水槽)と1F系統(水道直結)に分散させた。</p> <p>⑰受水槽の下に給水ポンプを取り付け、非常時に供給できるように配慮した。</p> <p>⑰非常用発電設備を設置し、停電時に対応できるようにした。</p> <p>⑰機械・配管の支持においては、耐震クラスSとなるように設計した。</p> | Q-2 2 2.1 2.1.1 | ⑯ 耐震性 | |
| | 2.1.2 | ⑯ 免震・制振性能 | |
| | 2.4 2.4.1 | ⑰ 空調・換気設備 | |
| | 2.4.2 | ⑰ 給排水・衛生設備 | |
| | 2.4.3 | ⑰ 電気設備 | |
| | 2.4.4 | ⑰ 機械・配管支持方法 | |
| | 2.4.5 | ⑰ 通信・情報設備 | |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) | | 得点 | 4.3 |
| <p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲飲食店は直天にすることで、広さを感じられるようにした。</p> <p>⑲LEシアター部分は、壁長さ比率が0.14の広く自由度の高い空間とした。</p> | Q-2 1 1.1 1.1.3 | ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 | |
| | 3 3.1 3.1.1 | ⑲ 階高のゆとり | |
| | 3.1.2 | ⑲ 空間の形状・自由さ | |
| <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>⑲長年地域住民に親しまれたボウリング場を再生し、ホログラムシアター及び歩行者空間に開放されたスペースを新設する事で、地域文化の再生と創出に貢献できるようにした。</p> | Q-3 3 3.1 | ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上 | |
| | | | |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature) | | 得点 | 2.5 |
| <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑲人工芝の上に底を設置しピロティとすることで、直達日射のあたる舗装面積を削減した。</p> | Q-3 1 | ⑲ 生物環境の保全と創出 | |
| | 2 | ⑲ まちなみ・景観への配慮 | |
| | 3 3.2 | ⑲ 敷地内温熱環境の向上 | |
| <p>■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑲温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑲夏季の卓越風向に対する建築物の見附面積比を32%に抑え、風通しを悪化させないよう配慮した。</p> | LR-2 2 2.5 | ⑲ 持続可能な森林から産出された木材 | |
| | LR-3 2 2.2 | ⑲ 温熱環境悪化の改善 | |

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)プロジェクト・オリオン新築工事 | 階数 | 3 |
| 建設地 | 静岡市葵区七間町4-1、-2、-3、-4、-5 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 290 人 |
| 地域区分 | | 年間使用時間 | 4,380 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 飲食店、集会所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年12月 0.0 | 評価の実施日 | 2021年1月8日 |
| 敷地面積 | 2,422 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 1,974 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 3,630 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 これは、CASBEE静岡2016年版による評価である。 | | その他 (仮称)プロジェクト・オリオンは、ホログラムシアターやボウリング場に加え、レストランおよびゲームセンターで構成された、複合文化施設です。 |
| Q1 室内環境 遮音等級T-2の開口部を使用し、界壁は、Dr値49~50になるように設計した。 また、各用途(LETシアター・ゲームエリア・ボウリングエリア・レストラン)において、外壁・界壁と同時に界 | Q2 サービス性能 外壁には、耐用年数50年のALCパネルを採用し、建物により長く持続できるように配慮した。 衛生・機械設備の配管において、3F系統(受水槽)と1F系統(水道直結)に分散させた。また、受水槽下に給水ポン | Q3 室外環境(敷地内) 長年地域住民に親まれたボウリング場を再生し、ホログラムシアターと全天候型イベントスペースも併設する事で、地域文化に貢献できるようにした。また、歩行者空間に開放されたピロティを設け、地域住民の憩いや |
| LR1 エネルギー 集会所の断熱材に、より断熱性の高いグラスウール24Kを使用し、BPI=0.85,BEI=0.75になるよう設計し、建築物省エネルギー法に適合するよう配慮した。 | LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外に、リサイクル砕石、再生7ｽﾌﾟﾙﾄ混合物に加え、床材においてエコマークを取得した建築製品を2品目、ウッドデッキにおいてエコマークを取得した木材・プラスチック再生複合材を用いている。 また、各部分の断熱材には、ノンフロン(ODP=0)の建 | LR3 敷地外環境 夏季の卓越風向に対する建築物の見附面積を32%に抑え、風通しを悪化させないように配慮した。 また、屋外に影響する照明について、光害対策ガイドラインの半分以上を満たし、光害対策に配慮した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される